

# 日本救急医療財団の活動報告

平 賢二 事務局長

2018年12月中旬から2019年2月上旬までの財団の活動について報告します。

## 総務部門に関する報告

仁平 正行 総務部

### 1. 救急救命処置検討委員会開催について

平成30年12月27日（木）15時00分より東京ガーデンパレスにおいて平成30年度第2回目の「救急救命処置検討委員会」を開催いたしました。議題は、（1）救急救命処置の追加、除外等に関する提案募集の結果について、（2）救急救命処置の追加、除外等に関する提案の対応について、（3）その他（厚生労働省等への報告について）で行われました。

はじめに、当財団行岡理事長のより挨拶があり、厚生労働省医政局地域医療計画課救急・周産期医療等対策室飯塚専門官より挨拶をいただき、坂本委員長の挨拶後、議題に沿って議事の進行が行われました。

（1）救急救命処置の追加、除外等に関する提案募集の結果について、資料により田邊委員（部会長）より報告がありました。

#### ・募集要綱等の説明

募集期間：平成30年9月3日～平成30年10月31日

登録方法：財団ホームページからの電子登録

#### ・登録概要

受付数15件、既存の処置の見直し3件、既存の処置の削除0件、新規の提案12件

#### ・提案者の状況

消防本部10件、MC協議会2件（県MC1件、地域MC1件）、関連学会・団体3件

（2）救急救命処置の追加、除外等に関する提案の対応について、資料により田邊委員（部会長）より第2回検討部会の検討結果の報告があり、救急救命処置に関する提案への評価と振り分けの結果について、平成30年度救急救命処置の追加、除外等に関する提案の概要と対応案（一覧）の部会評価案について審議され、一部修正のうえ了承されました。

（3）「病院前医療体制充実強化事業」について、事務局長より厚生労働省等への報告等についての説明がありました。

## 研修研究部門に関する報告

穂苅 幸夫 研修研究部

### 1. 救急救命士業務実地修練について

平成30年12月17日(月)から12月21日(金)までの5日間、国立病院機構研修センターにおいて、全国から推薦された54名の救急救命士の参加による救急救命士実地修練を実施しました。

研修内容は、救急救命士制度の将来像の講義・ワークショップ、心肺停止前の特定行為の講義・ワークショップ、症状・徴候 観察のコツの講義・ワークショップ、緊急度判定の理論と実践の講義・ワークショップ、現場活動のシミュレーションと教育技法の取得、局地災害における消防活動、局地災害時のMCに関する問題の理解の講義・ワークショップ、通信指令業務、通信指令業務の事後検証の講義・ワークショップ、MCにかかる諸業務の管理・運営の講義・ワークショップ、安全な救急業務管理の講義・ワークショップです。

20日(木)は医師との合同のワークショップとなり、活発な意見交換がなされ、受講生からは大変有意義な研修会となりました。

### 2. 病院前医療体制における指導医等研修(上級者)について

平成30年12月19日(水)から12月21日(金)までの3日間、国立病院機構研修センターにおいて、全国から推薦された50名の医師の参加による病院前医療体制における指導医等研修(上級者)を実施しました。

受講対象は、5年以上の救急臨床歴があり、救急科専門医やそれと同等の資格を有し、2年以上の地域メディカルコントロール担当医として経験を積んだ医師で、地域において指導歴がある医師です。

研修内容は、我が国の救急医療体制と病院前医療体制、消防法の改正、輸送と明入れ実施基準と緊急度判定、救急医療体制にかかる調整の講義・ワークショップ、局地災害における消防活動、局地災害時のMCに関する問題の理解の講義・ワークショップ、通信指令業務、通信指令業務の事後検証の講義・ワークショップ、救急救命士等に対する教育の講義・ワークショップ、再教育システムの構築の講義・ワークショップ、MC及び指導医の今後の展開の講義・ワークショップです。

20日(木)は救急救命士との合同のワークショップとなり、活発な意見交換がなされ、受講生からは大変有意義な研修会となりました。

### 3. 研修教育事業委員会について

平成31年1月23日(水)に東京ガーデンパレスにおいて、今年度第2回目の研修教育事業委員会を開催いたしました。

平成30年度研修教育事業実施報告等について審議されました。